



100億企業創出

シンポジウム in 和歌山

2026.5.25 月

13:30~19:00 2部制 (開場時間 13:00)

ホテルアバローム紀の国 2階 鳳凰の間

(和歌山県和歌山市湊通丁2丁目1-2)

※開催当日はオンライン配信はありません(当日の様子(第一部のみ)は後日和歌山県ホームページ等でアーカイブ映像として公開します。)

参加無料

会場の都合上、参加者数が限られる場合がございます【第一部:100名程度 第二部:50名程度】

会場限定

本気で100億企業を目指す経営者の皆様へ——

「100億企業創出シンポジウムin和歌山」には、100億実現という同じ志を持ち、同じ課題に直面する経営者が集います。

何かを成し遂げた経営者からの活きた経験、少し失敗してしまった経営者の教訓など、お互いの経験を共有しあうことで

成長に向けたヒントと仲間を得る場です。挑戦の先にある可能性を、ここで一緒に見つけましょう。

対象者

- 100億宣言*企業の経営者・経営幹部
- 100億宣言*を検討されている企業の経営者・経営幹部
- 金融機関、支援機関等

※「100億宣言」とは…
売上高10億円以上100億円未満の中小企業が自ら、「売上高100億円」という野心的な目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを、宣言するものです。宣言を行った企業は、国が進める補助金・税制の活用などが可能となります。

PROGRAM

第一部 講演 13:30~17:00

13:30~ ● 主催者挨拶・地域中核企業創出プログラムについて

登壇者 | 和歌山県知事 宮崎泉

13:50~14:30 ● 基調講演① | 高橋金属株式会社

「理念に忠実な全員経営への挑戦」

| 登壇者 | 高橋金属株式会社 代表取締役社長 高橋 康之氏

14:30~15:10 ● 基調講演② | 株式会社ReBoost

「事業成長を牽引する、経営チームの創り方」

| 登壇者 | 株式会社ReBoost 代表取締役 河合 聡一郎氏

15:10~15:25 ● 施策説明

中小企業庁「100億企業創出に向けた施策の方向性」

| 登壇者 | 中小企業庁 企画調整室 室長 赤松 寛明氏

15:30~16:50 ●

パネルディスカッション

「100億企業」を目指す意味と、「成長の壁」を打ち破るアプローチ

地域経済を牽引する次世代中核企業は、いかにして壁を突破するのか

パネリスト

高橋金属株式会社 代表取締役社長 高橋 康之氏
株式会社ReBoost 代表取締役 河合 聡一郎氏
株式会社タカショーデジテック 代表取締役社長 古澤 良祐氏
株式会社伊藤農園 代表取締役社長 伊藤 彰浩氏
株式会社紀陽銀行 取締役常務執行役員 営業推進本部長 向井 守寿氏

モデレーター

株式会社トイトマ 代表取締役社長 山中 哲男氏

16:50~17:00 ● クロージング

第二部 ネットワーキング 17:10~19:00

17:10~18:30 ● グループディスカッション

基調講演やパネルディスカッションなどで得た気づきをもとに、人材戦略、M&A、資金調達など100億企業を目指す過程で直面する様々な課題やその克服方法についてグループディスカッションを予定。業界や立場を超え、互いを高め合える同志とともに100億企業への突破口を拓きましょう。

18:30~19:00 ● 交流会(名刺交換)

参加のお申込みはこちらから 先着順

申込締切

5.22金



第一部への参加申込み多数の場合は「100億宣言企業」及び「売上高10億円以上の企業」を優先させていただきます。第二部への参加は、「100億宣言企業」、「売上高10億円以上の企業」の経営者(代表権を有する方など)及び金融機関・支援機関限定となります。参加申込み多数の場合は「100億宣言」企業を優先させていただきます。

主催



共催



協力





高橋 康之氏 | 高橋金属株式会社 代表取締役社長

2010年に三代目社長として就任。滋賀県長浜市に本社を置く金属塑性加工の総合メーカーとして、設計・試作から钣金・パイプ・プレス加工、組立・輸送・設置までを一貫対応する「ワンストップサービスPlus+」を強みとし、自動車・産業機器分野等に幅広く展開している。自社開発の電解水洗浄装置の製造販売を通じて環境分野にも貢献し、近年は電池・水素関連にも注力。中国・タイおよび国内の関連会社と連携し成長を続けている。最近では市民団体の代表や商工会議所副会頭などを務め、地域経済の発展にも積極的に取り組んでいる。



河合 聡一郎氏 | 株式会社ReBoost 代表取締役

地域中核企業創出プログラムスペシャルアドバイザー

プライム市場の印刷機械メーカー、リクルートグループを経て、株式会社ビズリーチの立ち上げ期を経験。その後は複数社を経て、ラクスル株式会社の創業メンバーとして参画。経営幹部を含めた採用戦略の策定/実行、人事評価制度構築、採用広報、企業理念の浸透施策など幅広く会社創りに従事。2017年、株式会社ReBoostを創業。「事業成長を加速させる組織づくり」をテーマに、累計100社以上の急成長をするスタートアップ、首都圏/地方を問わず幅広い企業に対し、人事戦略のコンサルティング~実行支援を行う。国内外を合わせて約40社以上のエンジェル出資や、VCとの提携を通じた人事領域全般を支援。

2019年：厚労省主催「グッドキャリア企業アワード2019」基調講演
2022年：経産省のスタートアップ向け経営人材支援事業、SHIFT(X) 審査委員
2023年：Forbes誌の「この起業家に投資した理由」掲載



山中 哲男氏 | 株式会社トイトマ 代表取締役社長

地域中核企業創出プログラムスペシャルアドバイザー

丸亀製麺の海外進出をハワイで成功させ、淡路島では1.5万坪の地を年40万人が集う観光聖地へと変貌させた事業プロデューサー。2008年にトイトマを創業し、2024年にはForbes Japan「これからのリーダー5人」、日経ビジネス「時代を切り開く注目の経営者」に選出されるなど、その動向が注目されている。

現在は株式会社ダイブ取締役として観光業界を牽引するほか、内閣官房や各省庁のアドバイザーとして大阪・関西万博など政府主導のプロジェクトにも多数参画。現場の実戦と官民連携の戦略を網羅する稀有なキャリアから導き出される実践知は、様々な業界での新たな事業創出や既存事業の発展を後押ししている。



古澤 良祐氏 | 株式会社タカショーデジテック 代表取締役社長

株式会社タカショーの社内ベンチャーとして株式会社タカショーデジテックを設立し、2019年に代表取締役社長に就任。「光の演出で、人の心を彩る」をビジョンに掲げ、屋外照明器具やLED看板、イルミネーション、ドローンなどを企画・製造・販売。累計来場者数100万人を超えるイルミネーションイベント「フェスタ・ルーチェ」や、日本一130万球のけやきライトパレードなど、冬の風物詩となるイベントを開催。Forbes JAPAN 2025年5月号ではタカショーデジテック創立からの軌跡を語った記事が掲載。また2025年4月からWIB(和歌山イノベーションベース)の会長に就任し県内の起業家育成に取り組む。



伊藤 彰浩氏 | 株式会社伊藤農園 代表取締役社長

2007年東京の食品・酒類卸の会社を経て、家業である株式会社伊藤農園に入社し、2023年代表取締役社長に就任。先代の父親が開発した「100%ピュアジュース」シリーズを軸に全国の百貨店やレストラン、海外に販路を広げ、入社当時の売上高を20倍以上に拡大。2024年、2025年には有田市と和歌山市に「みかんの木のカフェ」をオープンし、事業を多角化。2024 Forbes JAPAN SMALL GIANTS AWARD2023-2024「ニッポンが誇る「小さな大企業」として「LOCAL HERO(ローカルヒーロー)賞」受賞。耕作放棄地の買収をすすめ、地域の農業振興に取り組んでいる。



向井 守寿氏 | 株式会社紀陽銀行 取締役常務執行役員 営業推進本部長

1989年紀陽銀行へ入行。営業企画部長、営業戦略部長等歴任し、2020年4月に執行役員東和歌山支店連合店統括支店長兼和歌山東法入部長に就任。以降、取締役常務執行役員管理本部長等を歴任し、2026年4月より現職。

紀陽銀行は「メイン取引化の推進」により、資金供給だけではなく実効性の高い本業支援に取り組んでいる。DXや後継者対策といったあらゆるソリューションを活用し、企業の企画・投資・生産・販売・経営管理というバリューチェーンのすべての領域に関わることで企業のさらなる成長をサポートし、価値共創を実現するため、中小企業取引に経営資源を集中投下している。

主催

和歌山県企業振興課

担当：竹内、辻本 TEL:073-441-2760

運営

株式会社タナベコンサルティング

マネジメントDX：大淵 代表番号：03-6758-0073

●個人情報の取り扱いについて

- ご提供いただいた個人情報は、事務局(和歌山県、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構近畿本部、株式会社タナベコンサルティング)が本事業の運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局以外の第三者に開示、提供することはありません。
- 本件を運営する株式会社タナベコンサルティングでは個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページに記載の「プライバシーポリシー」をご覧ください。(https://www.tanabeconsulting.co.jp/docs/policy.html)